

中国自然歩道

石見銀山街道コース



温泉津町西田から降路坂への道

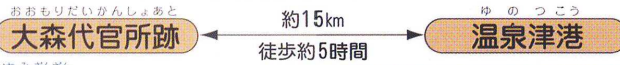
いなかの道を、リュックでもかついでのんびりと歩いていると、おもわないところで清らかな小川や、名も知らないかわいい花に出会うことがあります。また、道はたにぼつんと立っている朽ちかけた道標が、その地方の歴史を語りかけてくれる時があります。こんな忘れられそうなふるさとの美しい自然や文化的遺産を、中国5県が協力して一本の歩道で結んでいます。それが中国自然歩道です。この自然歩道の延長は、中国5県でも約1,900km、県内でも約537kmという長いものです。このような長い自然歩道のうち、県内でも特にみどころの多いコースをモデルコースとして紹介します。

さあ、美しい自然やふるさとの歴史を求めて、自然歩道にとび出しましょう。

コースの概要

鎌倉末期に開かれた石見銀山は、江戸時代に最盛期を迎え、人口も約20万人に達したといわれている。そのため、銀や生活物資の輸送のための道路が四方に開かれていた。これから紹介するコースは、当時の主要街道の一つで、コース沿いには、石見銀山の盛衰を伝える数多くの遺産が残されている。また、降路坂の自然観察コースでは、アキニレ・エノキなどの珍しい広葉樹が観察され、また、時にはシジュウカラ・サンコーチョーなどの野鳥や野生のサルとも出会うことができるなど、自然と歴史が同時に楽しめる家族連れ向けのコースとなっている。

石見銀山街道モデルコース



●石見銀山

鎌倉末期、周防の領主大内弘幸によって開かれた石見銀山は、その後、尼子・毛利の激しい争奪を経て、江戸時代に天領(幕府の直轄領)となった。一時は産銀量が1万貫、人口は20万人(当時の江戸が40万人)を越えたといわれている。

●大森の町並み

石見銀山の中心地で、800mにも及ぶ武家屋敷や民家の町並みは、当時の生活様式などを知るうえでも非常に貴重である。

●大森代官所跡

銀山が最盛期だった江戸時代、周辺3郡(48,000石)の地と銀山を管理したのがこの代官所で、正面と門長屋の建物は当時のままである。

●大久保石見守の墓碑

石見守は、慶長6年(江戸時代)、初代奉行として派遣され、銀の採掘に新しい技術を導入して石見銀山を空前の大繁栄に導いた。

●清水寺

聖武天皇の時代に一国一寺の寺として建立されたといわれ、銀脈の発見も清水寺の観音のおつげがあったと伝えられている。寺宝も多く、特に辻ヶ花染胴服は国指定の重要文化財に指定されている。

●山吹城跡

要害山とも呼ばれ、鎌倉時代に周防の領主大内氏が、銀山攻防の拠点として山頂に城を築いた。以来、尼子・小笠原・毛利氏などが30年間にわたってこの城の争奪戦をくりひろげた。

●仙の山

海拔530mの山で、銀峰山、銀峰仙あるいは石銀とも呼ばれ、古来、銀山の銀は主としてこの山から掘り出された。

●佐毘売山神社

山神宮とも呼ばれ、本殿・幣殿・拜殿と特殊な三殿造りで、神楽殿もある。当時の領主は、鉱山の神として大切にしていた。

●間歩

間歩とは、銀を採取した坑道のことで、新切、福神山、釜屋間歩など周辺の山には300近い間歩があるといわれている。歩道沿いにある龍源寺間歩の坑口は大きくしっかりしているため、坑内の探検が楽しめる。

●降路坂

折り重なる山々に挟まれた石見銀山街道の難所の一つで、目を閉じると戦国時代の合戦や、人馬の往来が幻影のように浮かぶようである。この峠から見る山々や日本海の眺めもすばらしい。

ゴミは持ち帰りましょう



大森代官所跡



間歩

●矢湾城跡

戦国時代の山城跡として有名で、享禄2年(室町時代)周防の豪族大内義興が銀山を守るために築いたものである。

●西田集落

大森と温泉津のほほ中岡地に栄えた宿場町で、町並みには当時の面影が残されている。

●清水集落

道床山はもともと今の約2倍の大きさがあったが、室町時代に山津波で崩壊し、集落や寺院をのみこんだといわれている。清水はその跡にできた岩と果樹木の美しい集落である。

●かなびしゃく井戸

清水集落に、岩の間からわき出る泉がある。銀山街道を往来する人々はここにかわいたのどをうるおしていた。そのそばに金でつくったひしゃくが置かれていたことからこの名がついたものである。

●温泉津海岸

リアス式海岸特有の変化に富んだかわいらしい海岸はみごとで、磯釣りや海水浴など四季を通じて利用者が多い。

●鵜ノ丸城跡

温泉津港を見おろす要地で、毛利元就が尼子との戦いの際、水軍の基地としたところである。

●温泉津港

石見銀山への海の玄関として栄え、この港からは主に食糧などを中心とした生活物資が銀山に送りこまれた。港内には当時の帆船をつないだ鼻ぐり岩がたくさん残されている。

●温泉津温泉

海と山に囲まれた温泉郷で、温泉津港とともに江戸時代以降、全国にその名が知られるようになった。温泉の主成分は食塩泉で、神経痛・リウマチ・ムチウチ症などに特効があるといわれている。

交通

JR大田市駅	バス20分	大森代官所跡
JR温泉津駅	徒歩10分	温泉津港
JR湯里駅	徒歩30分	温泉津町郷

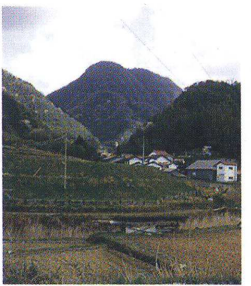
宿泊

大田市大森町	旅館1軒	問い合わせ…大田市観光協会 ☎(08548)2-2555
大田市温泉津町	旅館14軒 民宿1軒	問い合わせ…温泉津町観光協会 ☎(0855)65-2065

自然歩道はみんなの歩道です。ルールを守って利用してください。

1. コースについてはあらかじめ距離・時間・交通機関などについて十分検討し、余裕のあるスケジュールをたてましょう。
2. 天気予報には十分注意し、天候が悪くなったら、予定を変更したり中止する勇氣をもちましょう。
3. 歩行中は禁煙です。たばこは必ず喫煙所で吸いましょう。
4. 動植物を傷つけないようにしましょう。
5. ゴミは持ち帰るようにしましょう。

お問い合わせは 島根県環境生活部自然環境課
〒690-8501 松江市殿町1番地 ☎(0852)22-5348



西田から望む矢湾城山



温泉津海岸